

# 鉄道ピクトリアル

2012年5月号 Vol.62 No.5 通巻No.862

<特集> 東北のローカル私鉄

■表紙 春景色の十和田観光電鉄モハ3401……………三瓶 嶺良

ひがし野団地—工業高校前 2006-5-4

■グラフ

北に鉄道あり (1~8ページ)

秋山辰夫・福田悠介・澤木良直・尾崎 渉・吉里浩一  
……………松本 誠・井上英樹・小林 武・下嶋一浩・杉崎健一  
渡邊裕太郎・太田正行・原 敬一

東北ローカル私鉄の記憶 (84~87ページ)

…小林 武・千葉恵一・松本 誠・尾崎 渉・山中 茂・梶田俊幸

\*

東北のローカル私鉄 1952~53年の記録から

……………写真:伊藤 昭・伊藤成信… 33

駅構内スナップに見る昔日の東北ローカル私鉄

……………写真:大津 宏・牧野 滋ほか… 36

現存 東北ローカル私鉄の気動車 現有車と少し昔の旧在籍車

……………構成:服部朗宏… 40

昭和後期の鉄道情景(4)三重電気鉄道の電車……………巴川 享則… 46

廃止私鉄が動態保存で甦る……………写真:秋山辰夫・斎藤幹雄… 48

\*

Pictorial Color Gallery 心の風景……………大兼政成広… 81

〔JR貨物HD300形量産車/JR東海300系引退を前に惜別装飾  
東京都交通局大江戸線12-600形/富士急行6000系/JR東 88~91  
日本「スマート電池くん」烏山線で試験ほか

トピック・フォト (各地・関東・中部・関西)…………… 92

D51その一族—1115分の1の素顔—(131)……………構成:編集部…100

ロンドン都市圏の再生を担うロンドン・オーバークラウンド

……………塩塚 陽介…102

台湾南部の保存蒸機近況……………佐藤 繁昌…104

■本文

今月の話題:東北のローカル私鉄……………編 集 部… 9

ローカル私鉄は維持できるか—昨今の状況と未来への展望—

……………宇都宮浄人… 10

「仙鉄式附番」の研究……………澤内 一晃… 16

惜別 十和田観光電鉄 三本木原の発展を支え続けた89年間

……………三瓶 嶺良… 22

東北地方ローカル私鉄の趨勢……………斎藤 幹雄… 50

\*

鉄道の話題……………編 集 部… 49

乗って応援 会津の鉄道 雪見列車の旅……………根本 幸男… 61

ロンドン・オーバークラウンド 地下鉄ライクな一般鉄道

……………塩塚 陽介… 68

鉄道の情景を絵巻書で伝えた人達

(5)花巻の二つの軽便鉄道そして飯坂行き電車……………白土 貞夫… 78

書評(578)『小型蒸気機関車全記録 東日本編』……………和久田康雄… 80

東京地下鉄1000系……………深澤 真吾…105

東海道新幹線前史 弾丸列車計画の全貌(5)……………地田 信也…112

2月のメモ帳……………118

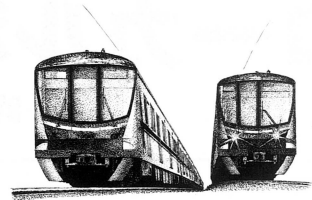
読者短信・情報ファイル……………119

後部車から……………123

ISSN0040-4047

Tetsudō pikutoriaru

今月の話題



カット:山本茂樹

## 東北のローカル私鉄

地域の足としての役割を担うローカル私鉄は、鉄道趣味の視点からは田舎を走る長閑な鉄道として魅力的な存在であった。かつて、こうしたローカル私鉄が数多く存在し、その宝庫とも言えた地域が東北6県である。しかし、1960~70年代にかけて、社会の変化により多くの中小私鉄が消えていく中で、東北地方の私鉄もその数を減らし、今日に至っている。ここまで生き残った鉄道は輸送人員の減少の中、さまざまな経営努力により維持されてきたが、さらに近年、鉄道廃止が相次いで話題となっている。本号はこうしたローカル私鉄の実態を全国規模であらためて考えるとともに、震災によって被災した鉄道、間接的に影響を受けた鉄道が実在する東北地方の現状を概観するものである。

東北地方6県における民鉄のこの10年の輸送密度(人/一日)を見てみよう(公営、臨海、並行在来線などを除く)。

	1999年度	2009年度
津軽鉄道	857	452
弘南鉄道	2,794	1,745
十和田観光電鉄	1,477	1,050
三陸鉄道	577	430
由利高原鉄道	811	590
秋田内陸縦貫鉄道	458	439
山形鉄道	988	660
阿武隈急行	2,190	1,762
福島交通	5,418	3,870
会津鉄道	1,114	780

減少幅は見てのとおりで、四半世紀前、国鉄地交線対策の選定基準が密度2,000人未満であったことを考えると厳しい現状が浮かび上がる。鉄道の維持に対して行政の支援体制も整備されつつあるが、未だ途上といった状況である。地方交通機関としての鉄道に対し、社会全体で認識を新たにしていく時期を迎えているように思えてならない。

TETSUDŌTOSHO KANKŌKAI  
Oak Ochanomizu Bldg., Kanda Ogawamachi 3-8 Chiyodaku, Tokyo/Japan